

温故知新で楽しみたい

中川 博勝^{*1}

Nakagawa Hirokatsu

何を書こうかと考えあぐねていたところ、F1の記事に目がとまった。ホンダがコンストラクターズタイトルこそメルセデスに奪われたものの、マックス・フェルスタッペンのドライバーズタイトル総合優勝に貢献した。ホンダF1としてのドライバーズタイトル総合優勝は、アイルトン・セナ以来30年ぶりの栄冠との記事であった。ホンダが掲載した広告も話題になった。

30数年前、THE SQUAREの“TRUTH”をバックにエンジン音を轟かせ^{とどろ}せていたオープニングのF1放映を楽しみにしていたことを思い出す。そこではマクラーレンホンダのアイルトン・セナをはじめ、ナイジェル・マンセル、アラン・プロスト、リカルド・パトレーゼが競い合っていた。そして雨模様になれば中嶋悟の活躍を期待していた。この時代は活気があったような気がする。

このころはウォーターフロント、カフェバー、高級車やジュリアナ東京と次々と新しいものが生まれてきた。横浜博覧会の開催や新宿の東京都庁舎完成、ロックフェラーセンターやコロンビア映画の買収もこのころであったと記憶している。クリスチャン・ラッセンの絵画、わたせせいぞうのイラストが人気を集めていたことも思い出した。

その後、バブル崩壊、ITバブル、通貨危機、リーマンショック…と時が流れ、この流れで新しいものが生まれて、あるものは残り、あるものは消えていった。

残っているものは、なぜ残っているのだろうか。雑誌などの書籍、SNSやインターネットでは多くの情報が毎日発信されている。この情報は価値ある情報としていつまで残るのだろうか。手にした本には、時代に磨かれ残ったものが古典であり、古典が最良の書であるといったことを以前に読んだことがあり、実際に古典を読んでみたことがあった。

そこで一度は読むべき古典として紹介されていた、ゲーテとの対話(ヨーハン・ペーター・エッカーマン著、山下肇訳)、武士道(新渡戸稲造)、方丈記(鴨長明)、川釣り(井伏鱒二)、方法序説(ルネ・デカルト著、小場瀬卓三訳)、職業としての政治(マックス・ウェーバー)、食卓歓談集(プルタルコス)…などを開いてみた。目をとおしてみたものの、当方の理解力、感性が足りないこともあり琴線に触れるようなものはなかったというのが正直なところであった。

古典が時代に磨かれ残ったものであるなら、老舗も時代に磨かれ残ったもの。最近できた新しいお店より、美味しいもの良いものがあるだろうと単純に発想した。

老舗といっても、行きやすいところ、二の足を踏むところ、色々ある。総じて和食の老舗は敷居が高く、なかなか暖簾^{のれん}をくぐる踏ん切りが付かない。比較的に気持ちが良いところ、そう居酒屋さんの老舗に行ってみようと思った。老舗そしてこ

*1：取締役 計測事業部長

れから老舗になりそうな居酒屋さん、「老舗になる居酒屋（太田和彦）」なる本も手に入れ、さあこれから本格的に行こうかと思いだめたところで、コロナ禍かになってしまった。老舗の居酒屋探訪は今後の楽しみとしているところである。

老舗という響きに独特の雰囲気を感じている。日本にはいくつの老舗があるのだろうか、ふと疑問を持った。Wikipediaによると、2017年時点で日本に創業100年以上となる老舗企業が全国で33,069社、1,000年以上に至っては7社あると紹介されている。創業が1,000年を超える企業は「千年企業」と称されるという。

日本は「老舗企業大国」であることは知らなかった。統計のとり方によって諸説あるが、日本には「創業200年以上」の老舗企業が3,000社以上も現存しているといわれている。これは、2位ドイツの約1,600社の2倍にあたる数字とのことである。

東京商工リサーチによると、日本にある千年企業トップ5社は以下になるという。

- 1位 株式会社金剛組（木造建築工事業／大阪府） 578年創業
- 2位 一般財団法人池坊華道会（生花・茶道教授業／京都府） 587年創業
- 3位 西山温泉 慶雲館（旅館・ホテル／山梨県） 705年創業
- 4位 株式会社古まん（旅館・ホテル／兵庫県） 717年創業

- 5位 株式会社善吾楼（旅館ホテル／石川県） 718年創業

大阪の建設会社「金剛組」は西暦587年創業。聖徳太子が四天王寺を建立するために百済くだらから招いた宮大工の金剛重光によって創業されたといわれている。西山温泉 慶雲館は世界最古の宿でギネスブック認定されているという。

日本以外では、オーストリアのザルツブルグにある「シュティフツケラー・ザンクト・ペーター（Stiftskeller St. peter）」というレストランで803年創業、ドイツでは「シュタッフエルトナー・ホフ（STAFFELTER HOF）」という最古の老舗ワイナリーで862年創業があるようだ。

日本に老舗企業が多いのは、同族企業や日本的経営によるものとか、または植民地化や侵略を免れてきたという日本の地理的な条件によるところが大きいともいわれている。また、技術やノウハウを連綿と受け継いで長年その技術や製品に専念しているためともいわれている。これらについては種々解説されているので興味のある方はそちらを見てほしい。

当社は1974年（昭和49年）に設立し、今年で48年の歴史をつないできている。今後、老舗と呼ばれるよう、培ってきた技術やノウハウを後世に承継し、刻々と変わる環境に適した技術・サービスと体制を創り産業の発展につなげていきたい。



取締役
計測事業部長
中川 博勝

TEL. 045-791-3516
FAX. 045-791-3542